

特定教育・保育施設等の利用定員について

1. 諮問内容

小規模保育施設のひかりの子保育園が、現園舎の隣地に新園舎を新設したことで、令和3年9月より、保育の利用定員（3号）を12名から19名に変更するため。

2. 保育の利用定員（3号）の増員について

(人)

施設名	施設種類	区域 (中学校区)	変更	合計	0歳児	1歳児	2歳児
					前	後	前
ひかりの子 保育園	小規模保 育施設	1・2中	前	12	—	6	6
			後	19	—	8	11
増 減				7	—	2	5

3. 確保方策と令和3年9月以降の利用定員

第2期交野市子ども・子育て支援事業計画に定める令和6年度の「確保方策」と、今回7人を増員した令和3年9月からの「利用定員」は以下のとおりです。

		令和6年度 確保方策	令和6年度 利用定員（予定）	令和3年9月 以降の利用定員	令和4年度以降 (検討中)※
2号認定（3～5歳児）		981人	1,010人	911人	99人
3号認定	（0歳児）	153人	165人	153人	12人
	（1・2歳児）	586人	628人	570人	58人

※令和4年度以降も、認定こども園（私立幼稚園からの移行）、保育所等により利用定員の確保に向けた検討を進めています。

今回の諮問による1・2歳児の
定員7人増に関する部分

令和3年4月：定員563人
令和3年9月～：定員570人

4. 隣地への園舎の建替えについて（ひかりの子保育園）

旧園舎：交野市東倉治4丁目2番地 13号

新園舎：交野市東倉治4丁目2番地 12号



新設前
ひかりの子幼稚園内で保育

新設後
ひかりの子幼稚園敷地外の
新園舎で保育を開始

意見	回答・取組方針
待機児が少しでも減るように	令和3年4月、待機児童「0」を実現しました。 今後も「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育の受け皿の確保に努めます。
近隣市では定員割れによる迅速な利用定員の減ができるようになってきています。交野市においても、同様の対応がいずれ必要になると思われますので、担当課におかれましては念頭に置いていただきたい。	「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直し等により、将来の保育需要の動向について見通しを立て、計画的に対応してまいります。
今年度第1回目の会議が開催されず、書面での案件の可決は残念です。今後は大事な子ども・子育て会議を開催して、交野市の指針を討議できるよう望みます。	本来でありましたら、委員のみなさまにお集まりいただきご説明させていただくところですが、緊急事態宣言が発令中であったこともあり新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催とさせていただきました。 第2回交野市子ども・子育て会議は、社会状況を見極めるとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を万全にした上で、お集まりいただき、開催させていただく予定をしております。
ひかりの子幼稚園は、ていねいに新園舎を増築されていました。いつも愛情深く子どもを育てくださる園。利用されるお子さんも健やかに育つことと思い見守り、応援したいと思えます。より多くのお子さんが通えることとなりすばらしいことだと思いました。	
0歳児の受け入れも検討していただきたい。	0歳児につきましては、数年間待機児童が「0」となっており、今回は1, 2歳児の定員拡大となっています。

令和3年度第1回交野市子ども・子育て会議に係るご意見

※ご意見等につきましては、令和3年度第2回交野市子ども・子育て会議にて報告します。